



英兩國陛下下ロトシノ軍

博士は殺されたか

米國學壇の權威「親日論者」

米國ハーバード大學の教授ヒューゴ・ミンスターベルグ博士は十七日同大學の所在地である劍橋市郊外の路上で、暴徒に襲撃されて殺害された。博士は米國學壇の權威者として知られ、親日論者として知られていた。博士は、米國學壇の權威者として知られ、親日論者として知られていた。博士は、米國學壇の權威者として知られ、親日論者として知られていた。

眞逆様に一千尺

十一名の慘死 雲山金鑛坑内の惨事

二十日午前七時頃、雲山金鑛坑内に、十一名の労働者が、火災に巻き込まれて惨死した。この惨事は、米國の労働安全問題に大きな衝撃を与えている。

馬賊、列車を襲ふ

安奉線九連城附近で乗客を襲撃

二十日午後、安奉線九連城附近で、馬賊が列車を襲撃し、乗客を襲撃した。この襲撃は、安奉線の治安に大きな影響を与えている。

憎む可き支那の奸商

新しくて日本商賈の信用を失墜

二十日、日本商賈の信用を失墜させた支那の奸商が、日本商賈の信用を失墜させた。この奸商は、日本商賈の信用を失墜させた。

出来心から罪

村松武八商店の店主が、出来心から罪を犯した

二十日、村松武八商店の店主が、出来心から罪を犯した。この出来心は、村松武八商店の店主に大きな影響を与えている。

橋の交通

鴨綠江に結氷、寒風頗る強し

鴨綠江に結氷し、寒風が非常に強い。この寒風は、鴨綠江の交通に大きな影響を与えている。

強盗團

公金を奪ふ

強盗團が公金を奪った。この強盗は、公金の安全に大きな影響を与えている。

串柿を

串柿を、串柿を、串柿を

串柿を、串柿を、串柿を。この串柿は、串柿を、串柿を、串柿を。

土砂崩壊して

生埋となる

土砂崩壊して、生埋となる。この土砂崩壊は、生埋となる。

地方の歳末

米の仁川、米の仁川

米の仁川、米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

製油所火災

光景惨憺を極む

製油所火災、光景惨憺を極む。この製油所火災は、光景惨憺を極む。

金鼠から眞正

金鼠から眞正

金鼠から眞正。この金鼠から眞正は、金鼠から眞正。

阿片を禁

阿片を禁

阿片を禁。この阿片を禁は、阿片を禁。

靴専門の泥棒

靴専門の泥棒

靴専門の泥棒。この靴専門の泥棒は、靴専門の泥棒。

死體を密葬

死體を密葬

死體を密葬。この死體を密葬は、死體を密葬。

女子技藝學校寄宿舎に猩紅熱発生

女子技藝學校寄宿舎に猩紅熱発生

女子技藝學校寄宿舎に猩紅熱発生。この女子技藝學校寄宿舎に猩紅熱発生は、女子技藝學校寄宿舎に猩紅熱発生。

大衆の方面に

大衆の方面に

大衆の方面に。この大衆の方面には大衆の方面に。

米の仁川

米の仁川

米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

米の仁川

米の仁川

米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

米の仁川

米の仁川

米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

米の仁川

米の仁川

米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

米の仁川

米の仁川

米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

米の仁川

米の仁川

米の仁川。この米の仁川は、米の仁川。

古木梅盆栽

枯死無念、古木梅盆栽。この古木梅盆栽は、枯死無念。

龍山齒科醫院

小兒齒科、龍山齒科醫院。この龍山齒科醫院は、小兒齒科。

比較は最良の撰法

比較は最良の撰法。この比較は最良の撰法は、比較は最良の撰法。

歲暮聯合大賣出し

歲暮聯合大賣出し。この歲暮聯合大賣出しは、歲暮聯合大賣出し。

帝國製麻株式會社製品

帝國製麻株式會社製品。この帝國製麻株式會社製品は、帝國製麻株式會社製品。

村松武八商店

村松武八商店。この村松武八商店は、村松武八商店。

本館

本館。この本館は、本館。

小兒科

小兒科。この小兒科は、小兒科。

本館

本館。この本館は、本館。

大新最
雅實ふる

ク
ラ
ブ
乳
液

クラブ乳液を脱脂綿につけて毎日数回お顔を
お拭きになれば能く脂肪や汚れが除れて其
には皮膚の滋養分のみが残りますから何時も
お顔が生々々美しくなります上に何とも云へ
ぬ床しい香ひがして御氣分まで清々いたしき
す御婦人にも紳士にも好適

あらひこ
クラブ洗粉
ほんてんしんはっぴい
本店新發明

ロイド・ジョージ首相演説中の

○希軍隊不撤退聲明

●英國食糧品の制限

き、遂に二月十一日日本赤十字

正五年法律第十號（證券を以て

輸出越前屋三三郎
二月中旬に於ける對外貿易は輸
出五百十二萬三千圓、輸入三百

水原農林專門學校 大田中學校
及び咸興高等普通學校の新設

畫は一再に止まらず、然れども其經費は既設事業費よりの減額其のす歳出經常部に於ける總督府費三萬六百餘圓の増加を示せるのみな

提出し其通過せざるに於ては別に迅速手段を以て内閣を押し到す可く重

の普及發達は時勢の進運と相俟

農業指導者として高等専門の學
修めたる人材を必要とするに至

在りては高等普通學校、内地人
りては中學卒業程度とし修業年

學校の入学志願者は居住内地人

目的を達する能はざる状況なる
て大正六年度に於て新に忠清南

置たるを失はざる可し

當し收容人員歩合年々低下の狀

に於ては大正六年度に於て新に樞要地たる咸興に高等普通學

式の交渉案を提出せんとせり。

教育の普及及び私立各種學校

幕府に参府の事となり本府は同年度

之を農商工部に隸屬せしめ從來

ひ來れるへモグロビンの製造を
製造等をもたすべき豫定なり

と思はれる。吉良鐵道協会の
は目下議會で審議をしてゐる恐

北京を立つ頃熊氏は病氣と稱し
籠つてゐるやうに聞いたがこれ

ゐるから世間では曹汝霖に比し
高い人物のやうに思ひ又事實氏

しては屈指の人と違ひはないが
敵が多く國會に於ける氣受け

一應

所に金庫員派出し磨税及び組

事 一 包

勝貴などは至徳の手柔かな方

所用の三分の一位手に入る困
宿五等で五十留下等で廿五留

人もたゞ何も持久戦と覺悟し
鹿古垂れ氣の見ぬ處は流石

る。唯浪人のみは入會を禁じ、
 新駁丈に却々趣味のある角

字を小耳に挟んで全くの落語
んと間違つた▲例の通り小泉

墮つて衆議院議員の肩書付の
 恐ろしく差し出すと▲今度

へは忽ち慘殺に逢ふ又被し露國



三、製法

東門出



支店

目

廣建に電命を傳へた

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込済)

○火藥部管散銃彈其類
○N.N.無烟用生製紙藥筒
○各種藥筒及各種藥筒
○自來水及自動水銃各種
○省節散彈兼用三連銃彈百發以上
○少年用及大人用空氣銃彈三個以上
○各種散彈及各種彈藥等號二十號以上
○英國製二連銃及獵具
○プロニング及ウインチスタ自動銃
○夏二連銃八個以上各都徑有
○英ハリチン二連銃各種
○英ハリチン二連銃
○十六番在
○外猛獸對連發自動銃及
小鳥討及獵鴨用巨孔銃

日東市本通三丁目
本日銃砲店
電話掛本局
番三三六二
番三三六二
を求價定
す耳

(取製創金小換引金は國造の番三三二京東發獨)

氣のエイタ歳暮の贈答品は何？

朝鮮總督府

高麗人蔘

近來類似品多きも朝鮮總督府製品は紅蔘專賣法により民間に製造を嚴禁せらる紅蔘の製造と相俟て生産せらるものにて全然其製造方法及品質並に成分を異にし居り候に付御買求めの節は必ず朝鮮總督府の封印に御注意被下度願上候

陸王三 東方月出引所

軍事行動を妨害せんとして
甘肅督軍張廣建に電命を傳へた

怒濤の月

二十九 小林蹴月作 武内桂舟畫
 凄き夜 「六」の二
 出したやうな絹代の細面は、軟か

男爵邸の客室から、絹代の臥せつて居るを云ふ離れの茶室までは、視上ぐやうの柱の大木を隔てて、其を百歩以上のだら／＼板がある。此處には風雅な花崗石の足溜りが滑連ひのやうに配置せられて、兩側の小土手には、既／＼季節おくれでこあがある、一杯の徳田や、萩や、桔梗やその他の秋草が徑も獲まぬほどにうれゐり茂つて、雨のたゞに柔重たけの首を地に屈くまで低垂れて居るので、自然體を窺ふには、往復へする事が難かしいのである。

「絹代、腹痛ぢやとやら聞いたがまだ不可かな」

男爵は、關條ををしぐやうに下げながら、物凄らかに絹代に近き方へ坐を占められたのであつて下げながら、

「絹代、男爵の姿を眼に止めて、衣しく、さつかは夜具を穿ねて、衣の襟を揃へようひなが起つた。そして、呉れ留むやうに膝上へ兩手を元へ。」

「いや、絹代、乃公が未だからさ



「御前様、お召物が溢れますので御生
います。」
男爵の背後から、連珠の目を差か
けながらのお仙は、片々の手に自分
の小袖を取りつゝ急ぐのであつた。
「ほんになう。天氣になつたら、黒
川に言ふて、綱やさを釣り取らせに
や不可の。」
男爵も、稍づつを繋げるやうに爲て
庭下駄の滑りを踏み堪へながら振を
登られた。
茶室は、中を五室に割られて、真
の茶座敷は、奥まりたる二室を當て
られてゐる。組代の臥つて居るのは
それである。今朝い入臺の間で
船の底にだけ、今宵のやうな雨の
日と来ては、宛然星明りて物を見る
やうな陰鬱さであつた。その陰鬱な
沈みきつた空氣の底に、真白く浮き
上つて、空想を愈々に具に
は仕うかと問ふんぞや、
「はい、恐れ入、まして御座います
さんのお蔭で、只今は大きに……
『落着いたと言ふのか。何にせせ
此の氣候ではの。露士を招んで、
貰ふたら仕うかの。』
『もうお露士さまを煩はすほど
はないやうで御座います。』
『お前は、餘程露士が嫌ひと見
の。嫌ひなら嫌ひで詮もない事
が。こりや千代、何故鬼斯でも
掛けんのか。氣の利かん、病人
な臨い所に居つちやが、益々氣
わるなるは居ちやが、
男爵は、室内を其方此方見回
がら、お得意の口小が始まる
「はい、御前様のお言葉では御座
ますが……』と、附添のお千代

「思ふ一口を聞いて」は實はあの、組代さまが、燈火をお嫌ひになりましたもんですから。」

「何や、組代は燈火が嫌ひぢやア?」

衛士も嫌ひ、燈火も嫌ひとは、よく嫌ひの多い女ぢや。組代、お前は付うして然う陰鬱な顔ばかり爲て居るんぢや。腹痛ぼば、誰もある事ぢやから、左様心配せずとももの事ぢや。乃公のもの、實は今朝から來西洋料理、電氣すく焼、ハイカラン、(註)此料理第一と爲つて居る。

南蛮大工 亞細亞 カフェータイカー

客つきて、身も骨も疲れて了うた所ぢや。幸ひ、只つた今が總務會社の金井と云ふ男を打止めに、聊時客室の用が中絶したので、是から一杯其方に附でゝ囑んで、今日一日の勞苦を忘るゝか、左なくば、其方方を待て、自動車で一走り、山谷へ飯でも喰へに行かうかと思ふに居つたに、肝腎の其方が腹痛と聞いた

院長 醫學士 森 定吉
 内科
 小兒科
 京藏本町行目
 瓦斯會館對面
 電話三六三番
 芙蓉醫院
 好いわ。病人を無理に起さす事も出来んからの。こゝろ千代や、お前方は母宅へ行つて、乃公の國立で一切此處へ運ぶが宜い。今日は特別の單列に、乃公が一つ、相代を看護の傍ら、此の室へ暇を試みようと思ふやうて、こんな風織りも亦一興云ふもん入院願ひ(診察夜九時迄)
 皮膚病 瘡毒 疥癬 濕疹 梅毒 淋病 遺精 陽萎 痔瘡 痔漏 痔核 痔瘻 痔瘡 痔漏 痔核 痔瘻
 皮膚科 瘡毒科 疥癬科 濕疹科 梅毒科 淋病科 遺精科 陽萎科 痔瘡科 痔漏科 痔核科 痔瘻科
 日曜祭日午後二時迄
 藤佐 醫學士
 京藏本町行目
 電話三六三番
 芙蓉醫院
 好いわ。病人を無理に起さす事も出来んからの。こゝろ千代や、お前方は母宅へ行つて、乃公の國立で一切此處へ運ぶが宜い。今日は特別の單列に、乃公が一つ、相代を看護の傍ら、此の室へ暇を試みようと思ふやうて、こんな風織りも亦一興云ふもん入院願ひ(診察夜九時迄)
 皮膚病 瘡毒 疥癬 濕疹 梅毒 淋病 遺精 陽萎 痔瘡 痔漏 痔核 痔瘻 痔瘡 痔漏 痔核 痔瘻
 皮膚科 瘡毒科 疥癬科 濕疹科 梅毒科 淋病科 遺精科 陽萎科 痔瘡科 痔漏科 痔核科 痔瘻科
 日曜祭日午後二時迄
 藤佐 醫學士
 京藏本町行目
 電話三六三番
 芙蓉醫院

外、別に何等の妙手にて食しけり。又雨は晴れぬ
より、其の色であつたが、女中等には固い
いので、只悉しく振舞ふ奉つて、雨の
茶室から雨の住宅へ、お膝立ての座
備にぞ参いだ。

○水原華城會同集案

客評 渡江千庭庵卿と生匠
の交遊の事、近頃頗る盛なり。仙臺
追はれて日進ふ所、須臾の暇も
鳥の巢に幾し居たり。又下野殿談
水園にて酒を分ち、冬月の
簫の音のやへに、調や冬の月
落露の二三韻詠を情時或
遇さじ。且の情也。又拒壁
片側ばかりの燈籠を置、たゞ
地二丁のあたり、上なる涼亭哉
欄の畔まで少し小窓やその月
出渡る處を看する。情野かな

先

人遊樂なれて居て之の手も説
地鳴き、手も落葉を風吹ぬ。陸
天月照み木影白く樹影の陸
天月何處へぞ歸く精願

秋
思
知
獨
者

ミツワ樟油は製造法を改良して、冷壓法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮な良質樟油で、平素此ミツワ樟油を使つてゐると「理想的護髮不乾性油」と云つて毛髪に滲込む方が強いから、毛髪の發育を助け且つ色黒く艶を麗しくし、毛髪と空氣と接觸することが少く、従つて空氣が毛髪に接觸する結果、漂白と云つて、毛髪の黒い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、凝つたり臭氣を發する等の憂は決してなすべく何時も艶々しい滑羽色で、髪毛、折毛などの憂は決してないのである。

新案特許 純護製藥 大 宗田商店發賣

み づ まくら
ミツワ水枕

大形當間廿二 中形當間 小形八十五錢 特別全圖

凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず

「僕に熱の田付時なそこには水枕が必ず必要だ。熱くべからでるのです。」と先生が言ひ出して寝た時なぞ水枕をすれば忽ち元氣回復す

(特圖商標)

ミツワ石枕
ミツワ枕
現貨鐵欄菊酒
町波フロッパス
町蘭化粧品
發賣元

○丸見屋商店

東京市日本橋區橋町四丁目
丸見屋發賣品 石枕 小動物間具

電話 浪花四四八・四四九・四五〇番
電信 略號 ○ミヤ 振替東京七一〇番

ミツワ水枕

日枕の内に側臥を喜び中へ、水枕をなると日
枕の四方形になるやうに臥してあります。左
右に横たひなりやチヤチヤしたりすること
なく、其の間に腰を強く中央が凹んで居ま
す。頭を洗つたばかり最も完全であります。
結末、多年治癒の難患、お出でたる
病を、簡単にし且つ安全なるもので、素
人でも婦人に容易く使用するもの出来
る、誠に理想的のものであります。

(大形鐵欄菊)

京師府署第五十二區區役奉命前來招接及
 通知之狀 第三區區役奉命前來招接及
 入不貲二枚
 大正五年十二月十九日
 李錦兒會社權蘭代表者
 株式會社共益社外七人
 緊急廣告
 一、自京城府西四軒町 道路改修工
 此入札深淺不一各自入札金高ノ
 分ノ五以上入札者ハ於該區役所
 方費ノ統統 學校組合費年額等給
 以上納メテ 入札ニ依リ入札金
 右大正五年六月六日京城府條例第
 號ニ依リ入札ニ附テ希望ノ者ハ
 會社係ニ破キ工事仕樣ヲ詳シ
 會計簿ニ於テ十二月二十五日限リ
 契約ハ朝報總發行所府尹金谷充
 大正五年
 十二月二十日 京城府

大阪屋號

○月示綱要講話 寫野 萬洋
○探 社會道徳上 共同實踐 國富強
○獨進 帝國版圖 一
○鏡 法政 重三
○近世年譜 讀 大日本
○英語問題 學村 道六
○富世百道 家評傳 廣八
○當世百道 家評傳 廣八
○光錄 栗原 基一
○自然科學者としてのゲエニ
○找發者の勳儀 井上 素岳
○農家收進増進法 今村 猛雄
○麗 尖塔 三浦 幸郎

るな良純的學和

磨齒 

るらせ用愛にん盛に庭家の女淑士

京日案内

○二十歳前後 下女子身入用
旭町三丁目 若柳醫院

○七坪の野洲な地海面に住宅附
て奥に養蜂事業を経営してゐる
り至誠謙渡した (姓名不詳)

○明治町 野村六三
前村寺店

○古本なら野村
買入蔵貨卸振賣上り

○貸家、光化門通延壽局通用門前
百六十丁二番地電話二三三七四間
黄金町三丁目電話寄寓電二三六〇
大澤商店出の活動寫真機製造
引針、花陽五丁一組同連成義善
並調子范陽九間一組同連成義善
鐵鏡の御方 二連十二景銀口
希望の御方 米倉

○電九十四番
定九十四番

○田馬蹄形漆器茶品什貨出し
京古本高價買入

○京古本町三丁目 但馬屋北時崎
有信樓 採用 皮部、二日掛
兄弟有雄監製 電話一七三三番
希芳本人來院 電話一七三三番
池田貿易社並進に出張あり、持
及海運、東京府、新嘉坡、香港、

中外新聞
 御用の方は御一舉次第參上仕候
 京城二番橋ミシシ店
 猪肉大勉強 寄注文配達
 京都新製品一貫文以上御買込
 電話一四二〇
 御不用ミシシ店買入
 取次電話一五〇〇
 綿類
 蒲團
 質 勸業債券買賣致候
 京城本町四丁番
 電話一四三番
 福田屋
 毛皮なめし並仕立
 鳥獸剥製調進販賣
 京城本町二丁目電話一〇六五牌元商
 京城春川閣行自前入時片道四
 京城春日川間毎日午動八時片分出
 南大通廣橋自働車
 丁日電話二九番 主務 金正四
 銃砲火藥雜貨
 京城南大通二丁目電話五八三三
 發本商店

一切の治療依頼に應ず
 明治町 柔術道場
 恩給年 長期町金
 短則無保監及無手數
 商品庫刻 江州屋本店
 館表門前
 獎學金 一百二十圓也提供內
 京城旭町二丁目七九
 朝延通俗教育會
 唯一の自家修機關
 規則書朝中越次第進呈
 京城旭町二丁目七九
 朝延通俗教育會
 銃砲火藥自轉車
 京城太田公州
 龍川銃砲店
 銃砲火藥 鐵具
 京城本町三丁目電話二〇九二番
 増戸銃砲店

八印星

一ツには庭家御のれづい

一ツに於に行賣及買品は印星

りん病
ばい毒
合請

環城圖 西ノ序車道通リ
 大トヲノ會場 神奈川
 大坂市

スー

星印を御使用す

大坂市
 發賣元 祭原伊太郎

計知 昨ハ 本紙ヲ御覽
 せ給アリ御注意

[illegible][illegible]

○宗信丸 十二月二日 仁川發
○江崎丸 十二月廿八日 仁川發
○江崎丸 十二月廿八日 仁川發
○江崎丸 十二月廿八日 仁川發
○江崎丸 十二月廿八日 仁川發

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行
○大連行 泰昌船行

[illegible]